

2020年以降も見据えて事業活動を ～第9回東京屋外広告コンクールを振り返って～



公益社団法人東京屋外広告協会 副会長
 東京屋外広告コンクール実施委員会委員長
高村 徹

平成10年より東京都から引き継ぎ開催しております東京屋外広告コンクールは平成26年度で9回目を迎えました。今回の応募数は76件と前回は少し下回りましたが、大変優れた作品が数多く出品され、デザインの質が年々向上していることを実感いたしております。また、今回は当協会で開催しております車体利用広告のデザイン審査を受けた中から優れたデザインに対して贈る「東京都都市整備局長奨励賞」の表彰も同時に行われ、お陰様にて去る3月10日に表彰式が無事終了いたしました。本事業を実施するにあたりご協力いただきました東京都、東京商工会議所を始め関係機関の皆様、そして会員皆様に心よりお礼申し上げます。

今、東京は新宿、池袋、渋谷など各地域で再開発事業が始まっております。そのプロジェクトの多くがオリンピック・パラリンピック開催の2020年を目標の一つとして急速に整備を進めています。そして今後、夫々のエリアで新しい街づくりが始まり、より良い街の景観形成のために屋外広告をどのように考えていくかが大変重要になってまいります。

当協会の東京屋外広告コンクールは街を彩る文化の一つである屋外広告の質を競うことにより東京の美しい景観を創出するという使命を持つ事業であると自負しております。これから当協会が担う役割はますます重要になってくると思われます。

当協会といたしましては、本コンクールを始め様々な事業を通して業界のさらなる活性化、そして世界に誇れる都市東京の景観形成に寄与するべく、2020年以降も見据えた活動を目指してまいりたいと思います。皆様におかれましては、何卒よろしくお願い申し上げます。

(株式会社昭和ネオン 社長)

あなたの未来を、カタチに。



株式会社フジサワ・コーポレーション

藤澤工業株式会社 株式会社ローヤルカラー 株式会社サワダ

<http://www.fujisawa-corp.co.jp>

本社 〒171-0051 東京都豊島区长崎1丁目10番地8号
 コマーシャル・イメージング事業部 TEL 03-3973-1641 / FAX 03-3973-2517

第9回東京屋外広告コンクール審査会報告

第9回東京屋外広告コンクール審査委員長 太田 幸夫
特定非営利活動法人サインセンター理事長



平成27年2月3日、第9回東京屋外広告コンクール審査会が開催された。主催を平成10年、東京都から公益社団法人東京屋外広告協会が引き継いだもので、本年度16年目、第9回を迎える。平成25年1月1日から平成26年12月31日の2年間、都内に設置された以下4部門の屋外広告を対象に、東京都知事賞、東京商工会議所会頭賞、公益社団法人東京屋外広告協会会長賞、東京都都市整備局長奨励賞がそれぞれ贈賞される。

東京都知事賞は第1部門：屋上広告の「ソーラーランタン寄贈プロジェクト」(3頁参照)、第2部門：屋上以外(壁面・突き出し・柱類など)の「OGIKUBO TOWN SEVEN SHOPPING CENTER」(3頁参照)、第3部門：街並みの「アートフラッグ」(4頁参照)、第4部門：車体利用広告の「だれだ? 秋田だ!」(4頁参照)が審査委員全員の満場一致で選ばれた。

「ソーラーランタン寄贈プロジェクト」(広告主：パナソニック株式会社、デザイナー：株式会社クリエイターズグループMAC、制作者：株式会社オリコム)は、屋外広告のこれまでのあり方を超える表現を見せてくれた。夜でも本を読みたい発展途上国の子供に贈るソーラーランタンの姿は何も昼間は見えない。代わって広告面の下部に異様な小さい突き出しがのぞいている。夜になるとその下に取り付けられたソーラーランタンが点灯し、影絵によって画面上に本を読む子供の姿を描き出す。キャッチコピーはその影の中にだけおさめている。シルエットを損ねるものが全くないところがとてもよい。

制作担当者から表彰式当日、その突き出し部分がうまく影絵を描くように切り貼りする制作作業に苦労したことを聞いた。表現手法とテーマはぴったりである。しかしその表示面が昼間、何もしないでよいかどうか、今後のためにも検討しがいのある広告事例だ。

「OGIKUBO TOWN SEVEN SHOPPING CENTER」は外壁の角面を地上から屋上まで白い帯にした。建物の全体色はグレーの一色。その2色が一体となって全体が昼夜とも一種の「サイン建築」になるように極力シンプルにまとめたところは高く評価できるだろう。

喧噪の新宿にあって「アートフラッグ」は、小サイズながら周りに負けない訴求力と存在感を示していた。それは表現モチーフ花札の猪や浮世絵の造形力を活かすデザインの配慮が適切であったことによる。モチーフのイノシシを多色の線書き、背景を黒にして絵を浮き立たせる、夜間のLED効果などなど。

「だれだ? 秋田だ!」は秋田県の線書きパターンが人の顔に似ていることから名付けられたキャッチフレーズ。電車の左右のドアで語呂合わせし、片方に秋田犬、竿燈、なまはげ、きりたんぼを描いて、ユーモアあふれる楽しい広告とした。

他の受賞作にも話題作が少なくない。例えば東京商工会議所会頭賞の「たいやき たいち」(5頁参照)は、毎度選ばれる電柱広告の一つとして、住宅街で目にしても、なじみやすく親しみを覚えて嬉しくなる素直なデザイン。大企業の優れた屋外広告デザインと小規模の屋外広告のどちらも同等かつ対等に、そのデザイン評価を受けている毎度の結果は、本コンクールの質とレベルの高さを物語っている。

また、本年から車体広告の申請を受けた約800点余の中から、協会推薦の2点に東京都都市整備局長奨励賞も贈賞された。白色の清潔感と緑色のさわやかさを素直に表現したキューピーマヨネーズと緑茶伊右衛門(8頁参照)の車体広告。落ち着きと品位を醸し出す都市空間のデザインと言える。

一方、応募の点数はここ数年、横ばいしないし下降の傾向を見せている。自薦に対する他薦の割合を増加させるため本誌読者におかれても、気づいた屋外広告の写真を撮って、本誌事務局へお送りいただきたい。制作期間と広告主と制作者を調べてもらって、応募用紙を事務局から送っていただいたら、新しい応募を促す動きに繋がるかもしれない。

第9回東京屋外広告コンクール 受賞作品

当協会は第9回東京屋外広告コンクールを実施しました。応募総数は76件で2月3日に公正かつ厳正な審査を行い13点の受賞作品を決定しました。表彰式は3月10日に学士會館にて開催し、各部門に東京都知事賞、東京商工会議所会頭賞、公益社団法人東京屋外広告協会会長賞を広告主・デザイナー・制作者に表彰しました。

東京都知事賞

<第1部門>



作品名 ソーラーランタン寄贈プロジェクト
 広告主 パナソニック株式会社
 デザイナー 株式会社クリエイターズグループ MAC
 制作者 株式会社オリコム

<第2部門>



作品名 OGIKUBO TOWN SEVEN SHOPPING CENTER
 広告主 荻窪商事株式会社
 デザイナー 株式会社京王エージェンシー
 制作者 株式会社昭和ネオン

人が通う。心が、かよい合う。

交通メディアのトータルプランニング

Advertising Agency

SHUNKOSHA

株式会社春光社

〒104-0031 東京都中央区京橋 3-7-5 TEL:03-3538-9320 (代) <http://www.shunkosha.co.jp/>

<第3部門>



作品名 アートフラッグとして日本の「和」のデザイン（25年）干支、（26年）浮世絵
 広告主 新宿大通商店街振興組合
 デザイナー 株式会社エムクリエイツ
 制作者 株式会社エムクリエイツ

<第4部門>



作品名 秋田デスティネーションキャンペーン
 だれだ？ 秋田だ！
 広告主 秋田県 観光文化スポーツ部観光振興課
 デザイナー 梅原デザイン事務所
 制作者 株式会社近宣 秋田支店

東京商工会議所会頭賞

<第1部門>



作品名 マーク ホシザキ
 広告主 ホシザキ電機株式会社
 デザイナー ホシザキ電機株式会社
 制作者 株式会社昭和ネオン

<第2部門>



作 品 名 世田谷信用金庫
 広 告 主 世田谷信用金庫
 デザイナー 株式会社東京システック
 制 作 者 株式会社東京システック

<第3部門>

作 品 名 たいやき たいち
 広 告 主 たいやき たいち
 デザイナー 日本広告株式会社
 制 作 者 大同工芸株式会社



<第4部門>



作 品 名 映画「トランスフォーマー/ロストエイジ」
 広 告 主 パラマウント ピクチャーズ ジャパン

デザイナー 株式会社 gratan
 制 作 者 協立広告株式会社

地域コミュニケーションは、
良質なメディアで。

●電柱広告・交通広告・屋外広告・広告企画

株式会社

東 広

広告代理店

本 社 〒104-0045 東京都中央区築地1-12-22 コンワビル5階
 Tel.03(3546)1050(代) Fax.03(3546)1060

町田支社 〒194-0013 東京都町田市原町田3-8-12 網倉ビル3階
 Tel.042(728)1235(代) Fax.042(722)6915

埼玉営業所 〒336-0963 埼玉県さいたま市緑区大門3700
 Tel.048(690)4600(代) Fax.048(812)1116

ホームページ <http://www.toko-ad.co.jp>

公益社団法人東京屋外広告協会会長賞

<第1部門>



作 品 名 マーク・太田胃散・
 ありがとういいくすりです
 広 告 主 株式会社太田胃散
 デザイナー 株式会社太田胃散
 制 作 者 株式会社電通

<第2部門>



作 品 名 LED電球「あかるさ全開トリオ」、登場！
 広 告 主 パナソニック株式会社
 デザイナー 株式会社博報堂 株式会社ヒルズ
 制 作 者 株式会社博報堂プロダクツ 株式会社オリコム



作 品 名 I. ♥. 歌舞伎町
 広 告 主 株式会社林不動産
 デザイナー 興和サイン株式会社
 制 作 者 興和サイン株式会社

<第3部門>



作 品 名 「夢を力に2014～日本最大級のシティドレッシング～」
 広 告 主 公益財団法人日本サッカー協会
 デザイナー 株式会社電通 株式会社電通テック 株式会社アドブレーション
 制 作 者 株式会社東京タカラ商会 株式会社ヒポポタマス 株式会社エフプログラムプロダクト

<第4部門>



作 品 名 月島機械
 広 告 主 月島機械株式会社
 デザイナー 株式会社日広通信社
 制 作 者 株式会社日広通信社



- 第1部門 建築物の屋上に設置された屋外広告物
 第2部門 第1部以外の屋外広告物（壁面、突き出し、建植、柱類、交通広告〔車内等を除く〕等）
 第3部門 街並みを構成する屋外広告物（複数の柱類広告、アーケード、バナー広告等）
 第4部門 車体利用広告

*但し作品は都内に平成25年1月1日から平成26年12月31日迄に設置されたもの。

主 催：公益社団法人東京屋外広告協会
 後 援：東京都 東京商工会議所
 協賛・協力：東京屋外広告美術協同組合 関東ネオン業協同組合 一般社団法人東京バス協会
 関東交通広告協議会 東電柱広告組合 東日本鉄道東京広告会 東京地下鉄広告会
 都営交通広告会

あらゆるニーズに応えます。

都 営 交 通 広 告 会

お問い合わせは

〒104-0031 東京都中央区京橋3-7-5 京橋スクエア
 株式会社 春光社内
 TEL 03-3538-9320(代) FAX 03-3538-9220

第1回東京都都市整備局長奨励賞受賞作品

東京都都市整備局長奨励賞について(概要)

目的

東京都において車体利用広告が定着し多くの広告が掲出されている中、デザインの質の確保が重要となっている。よって、新たに表彰制度を設け、優れたデザインを選出し、広告主や制作者に広く周知することで車体利用広告全体のさらなるデザイン向上を図る。

表彰内容

車体利用広告等デザイン審査案件の中から優れたデザインを表彰する。作品毎に広告主、デザイナー、制作者を表彰する。

作品は平成25年1月1日から平成26年12月31日の間に車体利用広告等デザイン審査を受けたデザイン約800件の中から選出しました。

<電車>

作品名 サントリー緑茶「伊右衛門」
 広告主 サントリー食品インターナショナル株式会社
 デザイナー 株式会社 HAKUHODO DESIGN
 制作者 株式会社ジェイアール東日本企画
 掲載媒体 JR山手線
 ※注：上記は平成25年1月現在のコピーです。現在は使用していません。



<バス>

作品名 キューピー
 広告主 キューピー株式会社
 デザイナー 株式会社ライトパブリシティ
 制作者 株式会社ライトパブリシティ
 掲載媒体 東急バス



企画からデザイン・撮影・施工まで、あらゆる
 ビジュアルニーズに応える総合コマーシャルラボ。

デジタルの美しさを、人へ、街へ。

- 銀塩写真、インクジェット出力ともにデジタル対応
- 屋外広告やバス/地下鉄のラッピングなど幅広く対応

IGG 株式会社 ラボ・銀座
 東京都中央区日本橋箱崎町20-13
 TEL. 03-5614-4440 〒103-0015

第9回東京屋外広告コンクール 盛大に表彰式が行われる



3月10日、学士會館にて第9回東京屋外広告コンクールの表彰式が行われ、各賞受賞作品の広告主、デザイナー、制作者の方々を始め会員、東京都、東京商工会議所始め関係機関など約130名の参加を得ました。

まず、石井会長より開会挨拶がなされ、東京都知事賞、東京商工会議所会頭賞、公益社団法人東京屋外広告協会会長賞の順番で、各部門に表彰状とトロフィーの授与が行われました。また、今回から車体利用広告等デザイン審査を受けた中から優れたデザインを表彰する東京都都市整備局長奨励賞

の表彰も併せて行われました。続いて太田審査委員長より今回のコンクールの講評が述べられ、高村実施委員長より閉会の挨拶があり、表彰式は滞りなく終了しました。

引き続き行われた懇親会は滝副会長の乾杯の音頭により開会。会場には表彰式会場から移動した受賞作品のパネルが並べられ、それらを見ながら受賞者や参加された方々の会話が弾み、ステージの金屏風の前で受賞者の皆さんが記念撮影をするなど、和やかな内にお開きとなりました。



第3回理事会開催 平成27年度事業計画・予算決まる ～東京オリンピック開催を見据え事業等の検討を盛りこむ～

3月10日、学士會館にて東京屋外広告協会（以下：屋協）の平成26年度第3回理事会が開催され、平成27年度事業計画、収支予算が決定しました。（10～12頁参照）

開会にあたり石井会長から挨拶があり、当日の出席者は理事18名（理事24名）、監事3名で、石井会長の議事進行により会議が進められました。始めに3月3日に開催された総務委員会にて理事会に諮るべき事項について検討された旨、間宮総務委員長より報告があり審議に入りました。

まず、「平成27年度事業計画（案）」と「平成27年度収支予算案（案）」の両案が事務局より説明され、来年度の事業には2020年の東京オリンピック開催を見据え当協会としても事業等の検討が盛り込まれました。また、予算は約1,217万円の予算が計上され、両案とも関連する内容であることから一括審議され承認されました。続いて第87回定期総会を来る6月18日（木）に開催することが承認され、その他第9回東京屋外広告コンクールについて高村副会長から受賞作品などの報告がありました。閉会にあたり、滝副会長から挨拶があり第3回理事会は滞りなく終了しました。

INTERACTIVE COMMUNICATION

NKB INC.

人と情報は動くもの、
だから交通広告&インターネット。

株式会社NKB

〒100-0006 東京都千代田区有楽町1-1-3 東京宝塚ビル9階
TEL.03-3504-2100(代) FAX.03-3504-2101

平成27年度事業計画

基本的考え方

平成27年度は安倍政権が進める地方創生と財政健全化の両立を目指す一年とされています。予算額は過去最大となり、様々な施策が実施される予定で、今後の成果が期待されます。

現在、景気の回復基調は維持されているようですが、その一方で最近はや安が進み、訪日外国人の増加など様々な効果があらわれております。一昨年より一千万人を超える訪日外国人の増加や来るオリンピックの開催などにより、日本、とりわけ東京は都市としての注目度が年々高まっております。東京都を始め各自治体ではより魅力的な街を目指し、景観の整備を重視されると予想され、当協会の役割がますます重要性を担ってくると思われまます。

このような状況を踏まえ、当協会の平成27年度の実業は特に車体利用広告等デザイン審査において引き続きさらなる良質なデザインを目指します。さらに景観形成における屋外広告物の質の向上を目指し、その他、セミナー事業、機関誌やホームページなど情報の提供を進めていきます。そのために新会員加入の促進など組織基盤の整備に努めてまいります。

当協会は本年度も会員を始め関係機関と協力しながら、屋外広告業界全体の向上に向けて、東京の都市文化向上の一助となるべく下記の事業を展開してまいります。

記

[公益目的事業]

1. 屋外広告に関するセミナー・施設見学会等の実施

屋外広告に関わる最新の状況や、知識に関する情報を会員のみならず、広く提供するため、また屋外広告関係の人材の育成等のためその時期に応じたテーマで実施します。

2. 車体利用広告等デザイン自主審査事業

引き続き電車、バス、タクシー、広告宣伝車の車体利用広告のデザイン審査を当協会の自主審査基準に基づいて、良好な景観の保持並びに交通の安全等という観点にそって、よりスムーズな審査の実施を目指します。

3. 屋外広告に関する情報の収集・調査・研究及び普及啓発事業

(1) 機関紙「TOAA REPORT」を年3回発行。

東京屋外広告協会の活動の他、行政による屋外広告関係の施策や各方面の取り組み等を掲載し、会員のみならず広く都民に提供します。

(2) ホームページによる情報発信

機関紙「TOAA REPORT」を掲載するほか、屋外広告に関わる取り組みや活動などを掲載し情報提供していきます。

(3) 違反屋外広告物共同除却への協力

東京都が主導する都内各地における違法な放置看板、貼り紙等の共同除却作業に協力します。

[その他の事業]

4. 会員相互のコミュニケーション・交流の促進

組織の維持と様々な活動を円滑に行うために、会員相互のコミュニケーション及び広く他の機関との交流を図ることができる場作りに努めます。具体的には定期総会、隔年ごとの東京屋外広告コンクール表彰式等を開催する機会に交流の場を設ける等工夫します。

5. 委員会活動、広報活動の強化

各委員会では屋外広告に関する様々なテーマを取り上げて、場合により外部講師や関係者を招き、広い視野で議論ができるように努めていきます。

さらに事業活動や委員会等での議論の成果、そして屋外広告に関する取り組みや活動について、当協会機関誌「TOAA REPORT」や、ホームページ、マスコミなどを積極的に活用し事業者だけでなく都民等に広く周知されるように努めていきます。

6. オリンピック開催に伴う魅力的な屋外広告関係事業の検討

2020年の東京オリンピック・パラリンピックの開催に向けて当協会として、事業等を検討する。

The Visual Communication Company

キングプリンティング株式会社
www.kingprinting.co.jp

□ 東京支社 〒105-0003 東京都港区西新橋1丁目5-8 西新橋一丁目川手ビル4F ☎03(3503)6700

収支予算書

平成27年4月1日から平成28年3月31日まで

(単位:円)

科 目	公益目的事業会計		収益事業等会計		法人会計	内部取引消去	合計
	公1 普及啓発	小計	他1 相互コミュニ ケーション	小計			
I 一般正味財産増減の部							
1. 経常増減の部							
(1) 経常収益							
特定資産運用益	0	0	0	0	2,000	0	2,000
① 特定資産受取利息	0	0	0	0	2,000		2,000
受取入会金	10,000	10,000	0	0	10,000	0	20,000
① 入会金	10,000	10,000	0	0	10,000		20,000
受取会費	6,203,100	6,203,100	539,400	539,400	2,247,500	0	8,990,000
① 法人会員受取会費	5,409,600	5,409,600	470,400	470,400	1,960,000		7,840,000
② 個人会員受取会費	276,000	276,000	24,000	24,000	100,000		400,000
③ 団体会員受取会費	517,500	517,500	45,000	45,000	187,500		750,000
④ 賛助会員受取会費	0	0	0	0	0		0
事業収入	2,565,000	2,565,000	590,000	590,000	0	0	3,155,000
① 広告料収入	465,000	465,000	0	0	0		465,000
② 行事参加費収入	90,000	90,000	590,000	590,000	0		680,000
③ 講習会費等収入	0	0	0	0	0		0
④ 屋外広告コンクール事業収入	0	0	0	0	0		0
⑤ 車体利用広告デザイン審査事業収入	2,010,000	2,010,000	0	0	0		2,010,000
雑収入	0	0	0	0	1,000	0	1,000
受取利息	0	0	0	0	1,000		1,000
経常収益計	8,778,100	8,778,100	1,129,400	1,129,400	2,260,500	0	12,168,000
(2) 経常費用							
事業費	9,017,200	9,017,200	1,151,700	1,151,700		0	10,168,900
役員報酬	1,683,000	1,683,000	99,000	99,000			1,782,000
給料手当	1,449,000	1,449,000	42,000	42,000			1,491,000
退職給付費用	96,600	96,600	2,800	2,800			99,400
法定福利費	315,300	315,300	9,900	9,900			325,200
会議費	440,000	440,000	760,000	760,000			1,200,000
旅費交通費	411,100	411,100	21,300	21,300			432,400
通信費	190,000	190,000	60,000	60,000			250,000
消耗品費	48,000	48,000	500	500			48,500
外注費	1,200,000	1,200,000	0	0			1,200,000
荷造運賃	45,000	45,000	0	0			45,000
光熱水料費	28,800	28,800	1,800	1,800			30,600
賃借料	1,920,000	1,920,000	120,000	120,000			2,040,000
リース料	376,000	376,000	23,500	23,500			399,500
支払報酬料	540,000	540,000	0	0			540,000
諸会費	100,000	100,000	0	0			100,000
雑費	174,400	174,400	10,900	10,900			185,300
管理費					2,615,100	0	2,615,100
役員報酬					198,000		198,000

収支予算書

平成27年4月1日から平成28年3月31日まで

(単位:円)

科 目	公益目的事業会計		収益事業等会計		法人会計	内部取引消去	合計
	公1 普及啓発	小計	他1 相互コミュニ ケーション	小計			
給料手当					609,000		609,000
退職給付費用					40,600		40,600
法定福利費					124,800		124,800
広告宣伝費					65,000		65,000
交際費					45,000		45,000
会議費					470,000		470,000
旅費交通費					117,600		117,600
通信費					80,000		80,000
消耗品費					1,500		1,500
外注費					100,000		100,000
光熱水料費					5,400		5,400
賃借料					360,000		360,000
リース料					70,500		70,500
諸会費					15,000		15,000
支払報酬料					280,000		280,000
雑費					32,700		32,700
経常費用計	9,017,200	9,017,200	1,151,700	1,151,700	2,615,100	0	12,784,000
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 239,100	△ 239,100	△ 22,300	△ 22,300	△ 354,600	0	△ 616,000
評価損益等計	0	0	0	0	0	0	0
当期経常増減額	△ 239,100	△ 239,100	△ 22,300	△ 22,300	△ 354,600	0	△ 616,000
2. 経常外増減の部							
(1) 経常外収益							
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用							
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0
他会計振替額	0	0	0	0	0		0
法人税、住民税及び事業税	0	0	0	0	0		0
当期一般正味財産増減額	△ 239,100	△ 239,100	△ 22,300	△ 22,300	△ 354,600	0	△ 616,000

的確なメディア展開により 最良のソリューションへ導きます。

屋外広告・放送広告・交通広告・デジタルサイネージ事業



長田広告株式会社 東京支社 交通事業部

〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町7-2 古賀オールビル6F Tel.03-5643-9330 Fax.03-5643-9331

新宿区の「屋外広告物の景観事前協議」の開始について

新宿区は、建築物等について景観事前協議を行い、良好な景観の保全と創出に取り組んでいます。

建築物と同様に屋外広告物も都市景観の重要な要素であることから、平成27年3月「新宿区景観まちづくり条例」の改正により、屋外広告物についても平成27年6月1日から景観事前協議を開始します。屋外広告物については、東京都屋外広告物条例の許可申請を行う前に、景観事前協議が必要になります。

併せて、平成27年3月に、「新宿区景観まちづくり計画」及び「新宿区景観形成ガイドライン」に屋外広告物に関する事等を盛り込む改定を行いました。

屋外広告物の景観事前協議では、「新宿区景観形成ガイドライン 屋外広告物に関する景観形成ガイドライン」等を活用しながら、新宿区にふさわしい屋外広告物の景観形成を図ります。

景観事前協議の詳細などについては、新宿区ホームページ「屋外広告物の景観誘導推進」でご確認をお願いします。

屋外広告物の景観事前協議

●対象範囲

新宿区全域

●対象物件

建築物若しくは工作物に附帯する、又は土地に定着する「広告塔、広告板（小型広告板を含む）、電柱又は街路灯柱の利用広告、標識利用広告、アーチ、装飾街路灯」

※これらの物件のうち東京都屋外広告物条例の許可申請が必要なものが対象となります。

●協議する時期

東京都屋外広告物条例に基づく許可申請の15日前まで

※建築物の景観事前協議の中でも設計の早い段階から屋外広告物について協議を行います。

●協議事項

屋外広告物の形態意匠・色彩・照明計画など

（周辺景観との関係性、建築物の形態意匠との調和、屋外広告物のデザインに関する協議）

新宿区景観形成ガイドライン 屋外広告物に関する景観形成ガイドライン

●概要

屋外広告物に関する景観形成ガイドラインは、区全域ガイドラインと地域別ガイドラインがあります。

●区全域ガイドライン

「景観誘導の視点」と「啓発の視点」の大きく2つの視点で構成されています。景観事前協議では、主に「景観誘導の視点」に関して協議を行います。

●地域別ガイドライン

「歌舞伎町地区」及び「外濠周辺地区」の2地区があり、地区内における景観上配慮すべき事項を定めています。

<歌舞伎町の景観まちづくり>

歌舞伎町では、賑わいと活力に溢れる都市景観を創出するため、屋外広告物を活用した景観形成に取り組めます。

また、歌舞伎町タウン・マネジメントが主体となり、屋外広告物を活用したエリアマネジメントを行っています。そういった地域の取り組みとも連携を進めていきます。



新宿東宝ビルのごzillaヘッド
(歌舞伎町)

新宿区 都市計画部 景観と地区計画課 〒160-8484 東京都新宿区歌舞伎町一丁目4番1
電話 03-5273-3831 FAX 03-3209-9227

シリーズ「これからの商業サインを考える」—3

特定非営利活動法人サインセンター 理事長 太田 幸夫

四角の枠からの解放

これまでの商業サインは建物の中と外を問わず四角の枠の中で取り扱われてきた例が多い。それは建物の柱や壁などの構造体が垂直と水平から構成されていることに影響されていると言える。あるいはポスターの用紙やシートなどのプリント素材が、矩形を基本として作られているからでもある。

けれども広告サインの場合、そのような素材や環境に規制されて表示面が四角である必要は本来ない。発想の原点を変えて、商業サインの形状のあり方を考えてみると、無意識的に白い背景の表示面を使った場合、街中で白い矩形の角が多く目に入る。そのような場合、刺々しい冷やかな印象が際立ち、その街の印象を損ねないとも限らない。矩形や白色を積極的に使った広告サインの場合とはともかく、無自覚なそれらの使用であれば、地色と角の扱いに注意したい。

矩形の枠から飛び出す商業サインの可能性は最近ようやく試みられ始めたばかりだ。プロジェクションマッピングと呼ばれる高輝度プロジェクターによるコンピュータ映像の投影である。2012年9月、東京駅の改修が終わった竣工祈念として、レンガ造りの駅舎に映像を投影。多くの観客を魅了した。予想以上の社会的関心と人出によって、警察当局の規制が入り、2回目以降の開催は危険を理由に禁止された。けれども各地におけるプロジェクションマッピングは、その後も多くの人を魅了している。

プロジェクションマッピングの魅力は、そのダイナミズムにある。枠にはまらない魅力である。一般的なプロジェクションスクリーンは白い矩形の投影膜である。ところがその矩形の制約もサイズも飛び越えて、柱や壁等建築構造体の形状、素材、色をそのまま取り入れながら、動きを伴うダイナミックな光の映像変化は人々を魅了する。

これは単なるダイナミズムというよりも環境をサイン化する「フレームレスサイン」を意味している。フレームをなくして環境全体をサイン化する試みだ。前回の本欄で書いたサインレスサインの指向性とも重なるものだ。



プロジェクションマッピングの事例：
エトワール凱旋門（2015年1月年明け、フランス・パリ）




東京の“ど真ん中”に情報発信

東京地下鉄広告会

【事務局】
 〒105-0003
 東京都港区西新橋1-6-21
 NBF虎ノ門ビル4階
 株メトロアドエージェンシー
 媒体本部 媒体管理局 管理部内
 TEL 03-5501-7835
 FAX 03-3593-6150



第9回東京屋外広告コンクール
受賞「I.♥.歌舞伎町」

商店街区の商業サイン

2015年2月3日、東京屋外広告コンクール審査会において、屋上以外の屋外広告物部門で公益社団法人東京屋外広告協会会長賞を賞与された応募作の一つは、新宿歌舞伎町の建物5階分の外壁に昼夜分たず強烈な赤色の、「I.♥.歌舞伎町」の巨大文字を取り付けたもの。審査会の席上、窓にかかって見えるため条例との整合性が話題になった。実際はベランダのルーバー上に取り付けており、法的な問題はないことが明らかになった。

この広告サインの事例は偶然ながら前記プロジェクションマッピングの話題とともに、筆者が新宿区役所内で職員を対象に商業サインのあり方など都市景観と街づくりの講演会を3時間実施した中で、話題にした視点と重なる。前述のようにフレームレスサインが今後の商業サインのあり方のひとつということ。もう一つは商店街区の商業サインが多様な個店サインの無秩序な集積に終わらせずに、プロジェクションマッピングのような手法を使った街区全体の形象化、つまり街区をシンボライズするフレームレスサインと個別店舗サインの統一的デザインが新しい研究の対象となるということ。

その意味で「I.♥.歌舞伎町」の屋外広告サインは、街区シンボルサインの素朴な原点を示していると言えるだろう。ゲートサインあるいはアーケードサインなど、ここで言うところのシンボルサインは、渋谷駅のモヤイ像や新宿アイランドに見られる屋外アートのように、地域のアイキャッチャーあるいはランドマークとして街区の顔を演出してきた。プロジェクションマッピングによるフレームレスサインがそれらと比べて違う所は、ハードでなくソフトの手立てであること。ソフトな手法ないし手立てであるため、容易にそのイメージを変更しダイナミックな訴求力の内容を常に更新できる。商業街区を常に魅力づける効果も高く、費用対効果も期待できる。

歌舞伎町の核施設であったコマ劇場は現在、瀟洒な高層ビルに変わりつつある。歌舞伎町タウン・マネジメント組織に招かれてこの度、新宿区役所第二分庁舎裏に出かけた。屋外広告物を使ったエリアマネジメント広告表示自主審査委員を委託され、第1回審査会に出席した。コマ劇場新ビルオーナーの東宝からは、その外壁の一部をタウンマネジメントの屋外広告面に使用する了解が得られつつあると言う。

この際ぜひ、ソフトなプロジェクションマッピング方式のダイナミックな商業サインを使って、歌舞伎町界隈の個店サインを統括する、主と従相まった「商店街サイン環境」の全国初プロトタイプ創出を期待したい。



写真提供：歌舞伎町タウン・マネジメント

Energy of Communication

広告もeCO時代へ。

あらゆる面から広告という情報力をプロデュースし、お客さまのニーズに合った広告戦略をご提案してまいります。

KYORITZ
ADVERTISING AGENCY
協立広告株式会社

〒160-0007 東京都新宿区荒木町13-8 協立ビル Tel:03-3355-1911 Fax:03-3355-4170 URL:<http://www.kyoritz-ad.co.jp>

日本のサインと空間デザイン

江の島が光り輝く「湘南の宝石 2014-2015」

江の島と言えば、やはり真夏の海水浴を思い出す人が多いと思います。しかし、冬になると宝石のように輝くイルミネーションで江の島全体がキラキラとした光に包まれます。

2012年に開催された「夜景サミット 2012 in 長崎」〔(一社) 夜景観光コンベンションビューロー主催〕で“関東三大イルミネーション”として認定されました。毎年、イベントが開催され昨年11月から今年の2月の「湘南の宝石 2014-2015 ～江の島を彩る光と音の祭典」では数百個のミラーボールを使用した空間作品「MIRROR BOWLER 光アート」など、様々なイベントがあり、光り輝く江の島は多くの人達が大変に賑わいました。(写真：江の島シーキャンドル)



出典 月刊 Signs & Displays 2015.1月号
(マスコミ文化協会発行より)

事務局だより

◆会議・行事等報告

第3回理事会

3月10日(火) 14時～15時
学士會館2階「203」

第9回東京屋外広告コンクール

3月10日(火) 学士會館2階
表彰式 15時～16時 「202」
懇親会 16時～17時 「201」

車体利用広告等デザイン審査委員会

3月24日(火) 12時～14時
丸の内二丁目ビル5階「会議室B」

第9回東京屋外広告コンクール受賞作品展示

4月20日(月)～5月3日(日)
東京駅アートロード

監事会

5月12日(火) 12時～13時30分
丸の内二丁目ビル3階「会議室1」

第1回総務委員会

5月12日(火) 14時～15時
丸の内二丁目ビル5階「会議室B」

第1回理事会

5月15日(金) 14時～15時
丸の内二丁目ビル5階「会議室A」

◆今後の予定

第87回定期総会

6月18日(木) 15時30分～16時30分
LEVEL XXI 東京会館(アーバンネット大手町ビル21階)

臨時理事会 総会終了後

会員相互の交流会 臨時理事会終了後

お知らせ

◇第9回東京屋外広告コンクール受賞作品、東京都都市整備局受賞作品が「東京都都市整備局」のホームページで紹介されています。

◇「景観広告検定」(WEB検定)が始まります。今回は3級。主催は全国屋外広告士連合会、対象は業界関係者、一般も対象。出題50問4択。申込は4月13日～6月12日まで。試験日は6月20日、21日。

詳細は景観広告検定ホームページを参照ください。

<http://www.ad-nikko.co.jp>

伝えることが仕事です。



総合広告代理店
株式会社 日広通信社

〒102-0083 東京都千代田区麹町4-3-3 新麹町ビル2階 TEL.03-3263-3521(代) FAX.03-3263-3509

サイン・ディスプレイ/POP制作

電柱・交通広告/マスメディア

デザイン・印刷物・販促プランの提案

展示会トータルプロデュース

出展ブース企画・運営